

TaKeFu SSH NEWS



福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2023年11月10日発行

SSH NEWS No.20

20 学生科学賞 最優秀賞

第67回日本学生科学賞 県予選が10月31日に行われ、最優秀賞に「殿上山断層は断層帯を形成する～地下水中の2つのイオンに着目した断層のルート調査」が選ばれました。11月に中央予備審査に進みます。



県予選には各学校の代表約50名がグループごとに研究の成果や課題などを発表しました。今回最優秀賞に選ばれた断層班は2019年度から先輩方が行ってきた研究を継続して実施しているものです。自然科学探究の時間や、休日、放課後を利用して多くの地点の地下水や湧き水を回収し、学校でイオン濃度を調べ、結果を記録し、断層のルートの一つ一つ調査してきました。今回の調査では、殿上山断層が二本の断層からなる断層帯を形成していると結論付けています。研究の動機が社会的にも意義深く、正確な断層ルートの解明を試みる工夫が高く評価されました。

【生徒の感想】

「目標の一つにしていた研究発表会で最優秀賞を取ることができて嬉しかったです。まとめられた結果を見たときの達成感、自分たちが味わってきた感動を伝えることができ、本当に良かったです。また、発表練習の過程で、自分たちの研究についての理解が深まり、新しい疑問や興味が湧いてきて、これからの研究も頑張りたいと思いました。」
「研究が始まった当初からこの大会で最優秀賞を取ることが目標としていたので達成できてよかったです。今回の研究では自分達全員が納得できるような結果が出てとてもやりがいを感じました。」

「研究発表会を経て、今までに自分たちで見つけてきた成果を伝えられて良かった。苦労して採取した水でも思うように結果が出なかったこともあったが、最優秀賞という形で報われて良かった。今後も、より穴のない研究を作り上げるためにより多くのデータを集め調べていきたい。」

「初めて自分たちの研究を大きな場で発表しましたが、事前にかくさん練習したこともあって、自分たちの研究内容に自信を持って成果を発表することができました。担当の先生に『自分たちの研究で得た感動を伝えろ』と言われながらやりましたが、ばっちり楽しみながら伝えられたと思います。今後も大舞台を経験することで、プレゼン能力およびディスカッション能力を向上させていきたいです。」